

c002004

[一湊区]十五夜綱引き

概要 適用



c002004001) 綱引き本番



c002004002  
芯となる縄



c002004003  
何本もの縄



c002004004  
かずらのツル



c002004005  
多くのかずらのツル



c002004006  
束ねてまとめる



c002004007  
回転させよってゆく

【概要】

- ・月の満ち欠けと蛇の脱皮に見る再生・不死の力にあやかって健康長寿の願いでもある。
- ・もう一つは夜露の主である月と水霊の象徴である蛇への収穫感謝と新しい節への豊年の願いであるようだ。
- ・旧暦の 8 月 15 日に行うのは熊本県中部から沖縄県全域にかけての地域である。
- ・また本州や朝鮮にも点々と見られることから、8 月 15 夜綱引きは相当古くからの行事であると考えられる。
- ・綱引民族が東アジアの中で最も豊かで多彩に行われ、しかもその根源の意味を発信し続けているのは、薩摩半島、大隅半島、屋久島、などの南九州地域と沖縄本島各地である。
- ・宮之浦の綱引きの綱は、芯を葛でつくり三つよりにし、それを三つ作る。
- ・これをマガヤ(もとは藁)を入れてよってゆくと一抱えほどの大きさの綱になる。
- ・これを一日がかりで作り上げ、まるくしてまず月に供える。
- ・午後 7 時半か 8 時半頃に大通りで長く伸ばして、二手に分かれて引き合う。
- ・負けた方はそれを集落の中央まで持って帰る。
- ・勝負は三番あり、勝負の始めには、唄を高唄した。

平成 27 一湊浦綱作り(平成 27 年 9 月 26 日)

ガジュマル通りにて実施(晴天)

06:30～11:30 縄ゆい

平成 28 一湊綱引(平成 27 年 9 月 15 日)

神事(お祓い)・綱引・相撲



c002004008  
先端部にまきつける



c002004009  
ガジュマルのへ上げる



c002004010  
先端部分



c002004011  
お神酒



c002004012  
縄をなつてゆく



c002004013  
巻き込んでゆく



c002004014  
持ち上げ



c002004015  
仕上がる縄



c002004016  
次の準備



c002004017



c002004018  
ねじ込み



c002004019  
ガジュマル通り風景

19:00～ 綱引/満月がよく見えた

綱引には観光客も参加

歌は中島一孝氏

婦人の踊りもあり

最後は綱を中学校跡地へ運び、掃除して解散。

【文献・その他】

・上屋久郷土誌

【写真】

c002004001) 盛り上がる綱引き本番の様子、背景には満月が

c002004002) ガジュマル通り、芯となる縄を複数伸ばし始める

c002004003) 通りに何本もの縄が伸ばされ集められる

c002004004) そこにかずらのツルを絡めてゆく(中島一孝氏)

c002004005) 更に多くのかずらのツルを絡めてゆく

c002004006) ポイントごと束ねてまとめる。

c002004007) 集落総出で縄とかずらのツルを回転させよってゆく

c002004008) 先端部にカヤを束にしてまきつける

c002004009) ガジュマルの木に渡した竹にロープをかけ持ち上げてゆく

c002004010) 固定された先端部分

c002004011) お神酒が振舞われる

c002004012) いよいよ縄をゆってゆく仕事が始まる

c002004013) 複数でカヤを捻りながらそれを芯となる縄の周囲に巻き込んでゆく

c002004014) ガジュマルの上からそれを持ち上げてゆく

縄ない風景



c002004020

切りそろえ



c002004023

完成した綱



c002004026

諸注意



c002004029



c002004021

長老二人



c002004024

中学校へ移動



c002004027

歌にあわせ移動する



c002004030



c002004022

体をはる



c002004025

小倉区長挨拶



c002004028

綱引きが始まる



c002004031

c002004015) 徐々に仕上がってゆく縄

c002004016) 女性たちは次の工程の準備に余念が無い

c002004017) ガジュマル通りで行われた縄ゆい風景

c002004018) 男たちは力を出して縄にカヤをねじ込んでゆく

c002004019) 仕上がった先端部とガジュマル通りの風景

c002004020) 飛び出した部分は剪定ハサミで切りそろえてゆく

c002004021) 引き綱を縛り付ける長老二人

c002004022) 男たちはこの縄ゆいに体をはる

c002004023) 完成してひきづなをつけた綱

c002004024) 完成した綱は集落総出で中学校へ一時移動

c002004025) 小倉区長挨拶

c002004026) 中島一孝氏より諸注意があり、そのあと綱引きの歌が始まる

c002004027) 歌にあわせ、集落総出で北へ、南へ綱を移動する

c002004028) 合図とともに綱は降ろされ綱引きが始まる

c002004029) 小倉区長も一生懸命引く

c002004030) 大人も子供も一緒になって精一杯引き合う

c002004031) 子供達も法被、甚平姿で一人前に参加

c002004032) 途中の休憩時間はみなで辺りに座り込み談笑

c002004033) 湯茶がふるまわれる

c002004034) 婦人会による踊りが披露される

c002004035) 集落全体でその輪に加わり皆が踊る

c002004036) 再び綱を持ち、歌に合わせて移動を始める

c002004037) この日よく晴れて空の上には大きな満月が出ていた

c002004038) 合図とともに一斉に引き合う

c002004039) 子供や婦人たちも一生懸命

c002004040) 最後綱の中央に消防団がノコを入れる

小倉区長も



c002004032

途中の休憩時間

大人も子供も



c002004033

湯茶のふるまい

子供達も一人前



c002004034

婦人会による踊り

c002004041) 見事綱の中央で引き裂かれ、綱引きは終了する

c002004042) 地区の役員から終了の挨拶がある

c002004043) 集落総出で綱を中学校まで移動する

c002004044) ガジュマル通りを子供達も一緒になって移動する

c002004045) 中学校へ到着

c002004046) 会場の後片付けをして終了となる



c002004035

皆が踊る



c002004036

歌に合わせて移動



c002004037

大きな満月



c002004038

一斉に引き合う



c002004039

子供や婦人たちも



c002004040

消防団がノコを



c002004041

綱引き終了する



c002004042

終了挨拶がある



c002004043

中学校まで移動



c002004044

子供達も一緒



c002004045

中学校へ到着



c002004046

会場の後片付け